



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

平成31年度  
採用

# 臨床研修医

Clinical Training Doctor

# 募集のご案内



さいたま赤十字病院

# さいたま赤十字病院の概要

## 所在地

〒330-8553

埼玉県さいたま市中央区新都心1-5

TEL 048-852-1111 (代)

FAX 048-852-3120

<http://www.saitama-med.jrc.or.jp>

## 施設の概要

■ 敷地面積	14,001.33	m <sup>2</sup>
■ 建物面積	8,877.53	m <sup>2</sup>
■ 延床面積	67,333.33	m <sup>2</sup>
■ 許可病床数	638	床

## 沿革

昭和9年	日本赤十字社埼玉支部療院創立	77床
昭和18年	与野赤十字病院に改称	
昭和22年	大宮赤十字病院に改称	
昭和47年	臨床研修病院に指定	
昭和55年	新本館診療棟及び埼玉県救命救急センター完成	増床使用許可 643床
平成5年	与野市市民床	15床 承認
平成11年	災害拠点病院に指定	
平成13年	救命救急センター病床再編成	
平成14年	結核病床	38床廃止 許可病床 605床
平成15年	大宮赤十字病院から、さいたま赤十字病院に名称変更	
平成17年	地域がん診療拠点病院に指定	
平成23年	地域周産期母子医療センターに指定	
平成23年	地域医療支援病院に指定	
平成25年	日本医療機能評価機構認定 (3rdG: Ver. 1.0)、付加機能救急医療機能 (Ver. 2.0)	
平成29年	病院新築移転 (さいたま新都心)	許可病床 632床
〃	総合周産期母子医療センター指定 (県内2か所目)	
〃	高度救命救急センター指定 (県内2か所目)	
平成30年	精神科身体合併病床	6床 許可病床 638床

## さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

## さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

## 特色

地域における高度急性期病院の役割を果たし、埼玉県内2か所目となる高度救命救急センターや小児医療センターと合同で総合周産期母子医療センターを有するほか、災害拠点病院として地域に密着した医療を推進しております。また、健診センター等の施設も整備し、皆様の健康管理に努めるとともに、他の医療機関との連携を図った急性期医療を展開し、地域に根差した医療を提供しております。

## 施設の指定等

- ・ 基幹型臨床研修指定病院
- ・ 総合周産期母子医療センター
- ・ 高度救命救急センター
- ・ ドクターカーによる診療（県内初24時間365日）
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 日本医療機能評価機構認定病院
- ・ 災害拠点病院
- ・ 埼玉DMA T指定病院
- ・ 赤十字医療救護班 4個班常備
- ・ 各種学会認定専門医制度の指定・認定（専門医等教育病院等学会の指定状況）

## 専門医等教育病院等学会の指定状況

日本内科学会（教育病院）	日本皮膚科学会（専門医研修施設）
日本外科学会（外科専門医制度修練指定施設）	日本整形外科学会（研修施設）
日本産科婦人科学会（研修施設）	日本眼科学会（基幹研修施設）
日本泌尿器科学会（基幹教育施設）	日本脳神経外科学会（研修施設）
日本麻酔科学会（認定病院）	日本病理学会（認定施設）
日本救急医学会（救急科専門医指定施設）	日本救急医学会（指導医指定施設）
日本消化器病学会（基幹研修施設）	日本循環器学会（研修施設）
日本呼吸器学会（認定施設）	日本血液学会（研修施設）
日本腎臓学会（基幹研修施設）	日本神経学会（教育施設）
日本消化器外科学会（基幹研修施設）	日本呼吸器外科学会（基幹施設）
日本リウマチ学会（研修施設）	日本消化器内視鏡学会（指導施設）
日本大腸肛門病学会（基幹研修施設）	日本集中治療医学会（専門医研修施設）
日本透析医学会（認定施設）	日本脳卒中学会（認定研修教育病院）
日本臨床細胞学会（認定施設）	日本肝胆膵外科学会（修練施設B）
日本乳癌学会（認定施設）	日本呼吸器内視鏡学会（認定施設）
日本手の外科学会（研修施設）	日本緩和医療学会（認定研修施設）
日本外傷学会（専門医研修施設）	日本耳鼻咽喉科学会（研修施設）
日本病態栄養学会（栄養管理・NST実施施設）	日本がん治療認定機構（認定研修施設）
日本周産期・新生児学会（母体・胎児専門医指定研修施設）	
日本超音波医学会（専門医研修施設）	日本胆道学会（指導施設）
日本肝臓学会（認定施設）	心臓血管外科専門医認定機構（基幹施設）
日本血管インターベンション治療学会（研修施設）	
日本口腔外科学会（専門医制度准研修施設）	呼吸療法医学会（専門医研修施設）

# 研修施設概要

院長 安藤昭彦  
 副院長 山本健詞  
 // 清田和也  
 // 甲嶋洋平  
 臨床研修責任者 甲嶋洋平  
 臨床研修指導医 45名

## 診療科及び概況

平成29年度

診療科名	肝・胆・膵	消化管内科	呼吸器内科	血液内科	膠原病	腎臓内科	糖・内分泌	総合臨床内科	腫瘍内科	精神科	神経内科	循環器内科	心臓血管外科	小児科	外科	乳腺外科	整形外科	脳神経外科	呼吸器外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	救急科	ER	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線診断	放射線治療	緩和ケア	麻酔科	病理診断科	検査部	健診部	リハビリ	口腔外科	計
医師数(常勤)	4	8	13	4	2	3	3	0	0	2	6	16	5	4	11	3	16	3	2	2	4	26	0	14	7	3	4	2	1	12	3	1	1	1	2	190	
1日平均入院患者数	29.1	28.3	56.7	31.8	6.2	11.1	4.1	0.0	0.0	0.0	26.2	52.5	12.3	7.6	45.9	14.9	92.7	28.8	5.9	3.1	2.5	14.8	46.0	0.0	49.0	12.2	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	586.9		
1日平均外来患者数	60.3	86.5	86.3	42.1	44.2	41.3	27.1	0.0	4.0	22.4	40.7	148.0	11.2	18.7	47.6	67.8	130.0	16.5	9.1	41.8	12.0	65.4	15.4	19.3	125.0	64.8	29.7	0.0	43.4	0.3	14.8	0.0	0.0	42.2	1377.9		

## プログラムの目的

臨床研修の基本理念に基づき、幅広い医学の基礎を修得させることにより、将来専門とする分野にかかわらず、患者の健康と疾病について適切に対応できるように研修医の育成を行うことを目的とする。

## プログラムの特徴

- 平成 22 年度から研修医制度の一部見直しが図られ、必修科目が一部削減されたが、臨床研修の基本理念を重視し、厚生労働省の到達目標を達成するために、従来の必修科目をすべて含むプログラムである。
- 高度救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修をおこなうことができる。
- 選択研修期間については 8 ヶ月あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って選択科目、期間を決めることが可能である。

# さいたま赤十字病院臨床研修プログラム

( ) は月数

1年次	内科				外科	救急
	6ヶ月				3ヶ月	3ヶ月
2年次	産婦人科	小児科	地域医療	精神保健	選択科目 ※1	
	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	8ヶ月	

※1 選択することができる研修診療科目は以下のとおりです。

- ・ 消化器内科 ・ 呼吸器内科 ・ 血液内科 ・ 糖尿病内分泌内科 ・ 膠原病リウマチ内科
- ・ 腎臓内科 ・ 総合臨床内科 ・ 精神科 ・ 神経内科 ・ 循環器内科 ・ 小児科 (県立小児) ・ 外科
- ・ 乳腺外科 ・ 呼吸器外科 ・ 整形外科 ・ 脳神経外科 ・ 心臓血管外科 ・ 皮膚科 ・ 形成外科
- ・ 泌尿器科 ・ 産婦人科 ・ 眼科 ・ 麻酔科 ・ 緩和ケア診療科 ・ 救急科 ・ 放射線診断科
- ・ 検査部 ・ 病理診断科

※2 診療科目及びスケジュール等により、希望通りとならない場合があります。

## 研修スケジュール (例)

1年次スケジュール(例)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科系(内)	内科系(内)	内科系(内)	外科	外科	外科	救急科	救急科	救急科	小児科(県立小児)	内科系(循環器)	内科系(循環器)
内科系(内)	内科系(内)	内科系(内)	内科系(循環器)	内科系(循環器)	内科系(神経内科)	救急科	救急科	救急科	外科	外科	外科
内科系(循環器)	内科系(循環器)	内科系(神経内科)	救急科	救急科	救急科	内科系(内)	内科系(内)	内科系(内)	外科	外科	外科
救急科	救急科	救急科	内科系(内)	内科系(内)	内科系(内)	内科系(循環器)	内科系(循環器)	産婦人科	小児科(県立小児)	外科	外科
外科	外科	外科	内科系(内)	内科系(内)	内科系(内)	内科系(神経内科)	救急科	救急科	救急科	小児科(県立小児)	産婦人科

2年次スケジュール(例)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
麻酔科	小児科(県立小児)	循環器(選択)	腎臓内科	地域医療(原町)	精神 保健所血液	産婦人科	皮膚科	麻酔科	呼吸器内科	救急科(選択)	膠原病内科
小児科(県立小児)	産婦人科	地域医療(原町)	精神 保健所血液	血液内科	血液内科	糖尿病内科	循環器(選択)	循環器(選択)	麻酔科	皮膚科	麻酔科
外科	外科	泌尿器科	精神 保健	小児科選択(新生児)	小児科選択(新生児)	麻酔科	麻酔科	地域医療(原町)	産婦人科(選択)	産婦人科(選択)	救急科(選択)
麻酔科	内科系(神経内科)	小児科(県立小児)	精神 保健所血液	消化器内科	泌尿器科	検査部	乳腺外科	心臓血管外科	地域医療(原町)	外科(選択)	外科(選択)
内科系(神経内科)	小児科(県立小児)	精神 保健所血液	地域医療(原町)	麻酔科	消化器内科	消化器内科	外科(選択)	腎臓内科	糖尿病内科	膠原病内科	皮膚科

## 臨床研修協力施設

地域医療プログラム及び精神・保健プログラムについては、下記の臨床研修協力施設において研修プログラムに基づいた臨床研修を行ないます。

### \*【地域医療】 (1カ月)

- ◆ 駒橋内科医院 埼玉県さいたま市中央区新中里 5-2-5
- ◆ 原町赤十字病院 群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町 698
- ◆ 公設宮代福祉医療センター 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 177
- ◆ すこやか内科クリニック 埼玉県さいたま市中央区鈴谷 5-3-12
- ◆ あきもと内科クリニック 埼玉県さいたま市中央区新中里 1-3-3  
埼玉大通りメディカルビル 2F
- ◆ ゆり内科クリニック 埼玉県さいたま市中央区上落合 1-11-15  
アクス新都心ビル 2階
- ◆ しおや消化器内科クリニック 埼玉県さいたま市中央区本町東 3-3-3

### \*【精神・保健】 (1カ月)

- ◆ 埼玉精神神経センター 埼玉県さいたま市中央区本町東 6-11-1
- ◆ 小川赤十字病院 埼玉県比企郡小川町小川 1525
- ◆ 特別養護老人ホーム ナーシングヴィラ与野 埼玉県さいたま市中央区本町東 6-10-1
- ◆ 高齢者総合福祉施設 敬寿園 埼玉県さいたま市見沼区片柳 1298
- ◆ 埼玉県赤十字血液センター 埼玉県さいたま市見沼区深作 955-1
- ◆ 埼玉県内保健所 埼玉県内

### \*【小児科】 (1カ月)

- ◆ 埼玉県立小児医療センター 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

### \*【選択科目】

- ◆ 自治医科大学附属さいたま医療センター (申請中)  
埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

# 平 31 年度採用さいたま赤十字病院臨床研修医募集要項

## 1. 出願資格

マッチングシステムに参加登録する者で、(1)または(2)に該当する者

- (1) 第113回医師国家試験を受験する予定の者
- (2) 医師国家試験に合格している者

## 2. 募集人員

15名

## 3. 選考方法

- ・書類審査
- ・筆記試験
- ・小論文
- ・面接試験

## 4. 選考日及び場所

日 時 平成30年8月21日(火)または23日(木)

※ どちらかの日程を選択

場 所 さいたま赤十字病院 会議室

## 5. 出願手続き

### (1) 出願方法

① 郵送による出願は、(2)の書類を一括して封筒に入れ、書留郵便にて提出して下さい。(平成30年7月31日までの消印があるものまで有効です。)

また、持参による場合は、土・日以外の午前9時から午後4時までに(2)の書類を担当窓口(教育研修課)まで提出して下さい。

② 出願締め切り期日

平成30年7月31日(火)

③担当窓口及び宛先

〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心1-5

さいたま赤十字病院 教育研修課 TEL 048-852-1572

E-mail kensyu@saitama-med.jrc.or.jp

### (2) 出願書類

(願書、受験希望日記入票、調査票の様式は当院HPよりダウンロードして下さい)

①選考試験願書

②成績証明書(厳封)

③卒業見込証明書または卒業証明書

④健康診断書(様式指定なし、出身大学で実施された健康診断書可)

⑤受験希望日記入票(希望する選考日を記載して下さい。)

(3) 出願書類を受理後、当院にて選考日を記載した受験票を、本人に通知いたします。

なお、8月13日(月)を過ぎても到着しない場合は、教育研修課までご連絡下さい。



# 臨床研修医の処遇要項

1. 身分 常勤嘱託
2. 給与に関する事項
  - ア. 給与 1年次 月額 300,000円  
2年次 月額 350,000円  
\*時間外手当・通勤手当等を該当者に支給
  - イ. 日・当直 研修医当直 月4回程度  
宿・日直手当は、当院の規程による
  - ウ. 賞与  
1年次 冬 100,000円  
2年次 夏 100,000円 冬 100,000円
3. 研修医の宿舎及び院内研修医室
  - ア. 研修医宿舎 無 \*住居手当支給（当院規程による）
  - イ. 院内研修医室 有
4. 勤務時間および休暇に関する事項
  - ア. 勤務時間 8:30 ~ 17:00（休憩45分）
  - イ. 休日 土、日曜日・祝祭日・年末年始（12/29~1/3）・創立記念日（5/15）
  - ウ. 休暇 有給休暇 労働基準法による  
夏季休暇 3日間
5. 社会保険・労働保険等に関する事項  
健康保険・厚生年金・労災保険・雇用保険 あり
6. 健康管理に関する事項  
年1回 定期健康診断の受診を行なう
7. 学会の参加に関する事項  
指導医のもと積極的に演題発表、参加を認めております

# 新病院のご案内

## 新病院の基本方針

1. 新病院のコンセプト
  - ・ 質の高い医療の提供
  - ・ 患者さんにとって便利で心地よい診療・療養環境
  - ・ 地域の医療・福祉機関との連携強化
  - ・ 研修体制の充実
  - ・ 柔軟性・拡張性のある設備計画
2. 新病院が果たす役割
  - ・ 地域完結型医療の実現に向けて中核病院としての機能を整備
  - ・ 地域がん診療連携拠点病院として主要がんに対する急性期治療を強化し、集学的治療を実施
  - ・ 超急性期病院として救急医療・急性期医療に重きを置き、さいたま市を中心とした地域住民の安心、安全、健康な生活維持に貢献
  - ・ 埼玉県の災害拠点病院として災害に強い病院を整備するとともに、DMAT・赤十字救護班などとの連携を積極的に推進
  - ・ 教育・研修体制の充実により、医療人の育成・確保に努め、チーム医療が実践できる組織体制を構築

## 新病院の特徴

1. 高度専門医療の提供
  - (1) 総合周産期母子医療センター機能の整備  
母体・胎児集中治療室（MFICU）の新設
  - (2) 高度救命救急体制の充実  
救命救急ICU（EICU）と救急病棟の増床  
ハイケアユニット（HCU）と脳卒中ケアユニットの新設
2. がん診療の充実
  - (1) 最新放射線治療装置（リニアック等）や画像診断装置（PET-CT等）を導入し、身体に負担が少なくかつ効率的な治療を実施
  - (2) 外来化学療法室の拡充
  - (3) がん相談機能の充実を図るため、がんサロンを整備
3. 災害医療への対応
  - (1) 屋上ヘリポートの設置
  - (2) ペDESTリアデッキに災害時のトリアージや治療スペースの確保
  - (3) 非常時にも対応できる十分な資材備蓄・電源確保

#### 4. 快適な療養環境づくり

- (1) 個室が多い病床編成
- (2) ベッドサイド医療のためのゆとりある新型4床室
- (3) 全てのベッドサイドに窓を設置し、採光や緑の眺望を確保

### 埼玉県立小児医療センターとの連携

#### 1. 周産期医療

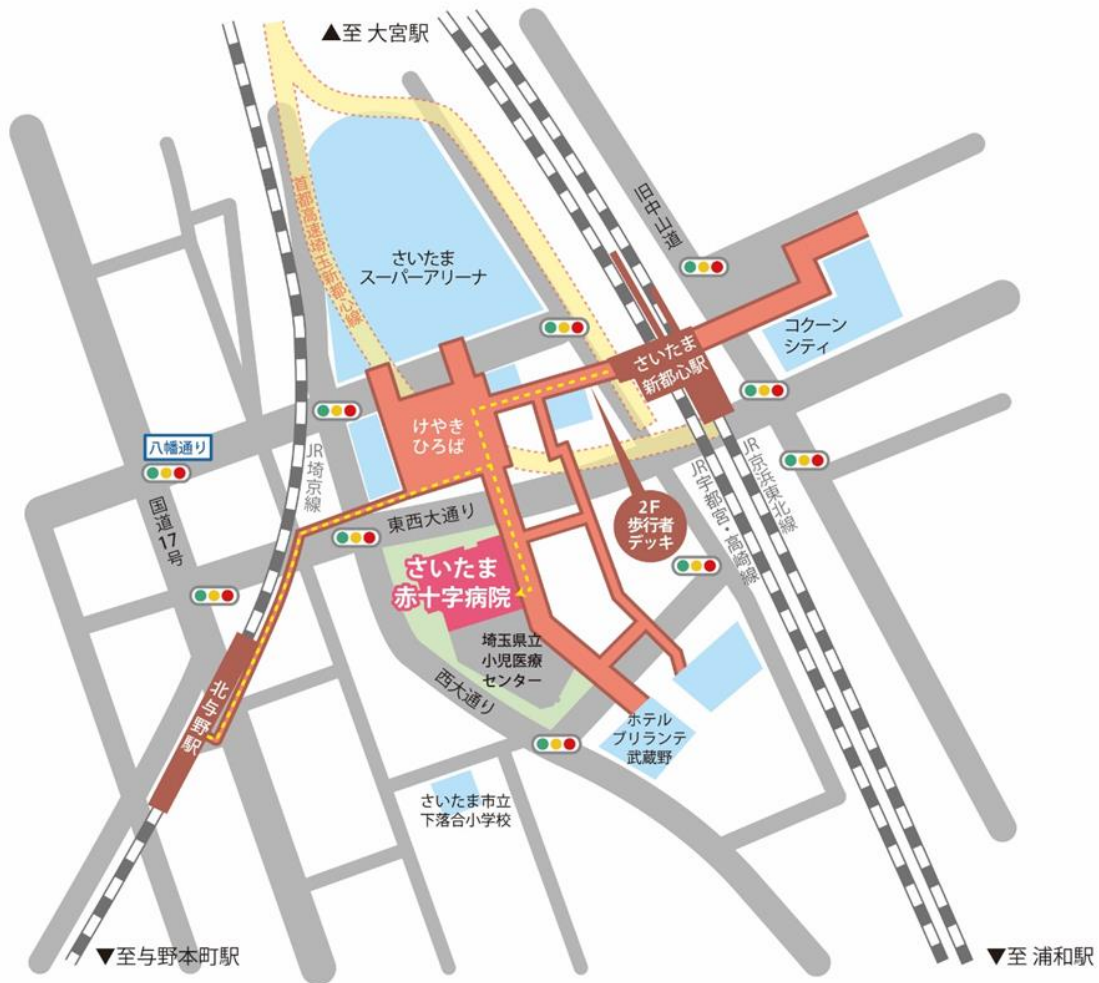
- ・さいたま赤十字病院      ハイリスク妊産婦受入れのためのMFICUの新設  
救命救急センターと連携し母体救命機能を整備
- ・埼玉県立小児医療センター      ハイリスク新生児受入れのためのNICU、GCUの大幅増床

#### 2. 救急医療

- ・さいたま赤十字病院      高度救命救急センターとして救命救急医療機能を強化  
病院前救護体制の強化・充実を図るための救急ワークステーションの整備
- ・埼玉県立小児医療センター      小児重症患者の受入れを行うPICUを整備


#### 3. 施設の共同利用

2つの病院が隣接立地するメリットを生かし、病院の附帯施設の共同利用



## 交通のご案内

- JR 京浜東北線・宇都宮線・高崎線  
「さいたま新都心」駅下車 徒歩約4分
- JR 埼京線  
「北与野」駅下車 徒歩約6分

※ **2F 歩行者デッキ** をご利用下さい。 に沿ってお進みください。